

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SODATEキッズ 大電町パーク 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		～ 2026年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育活動やイベントのバリエーションが豊富	季節ごとのイベントを工夫し実施している。 子どもの好む活動やイベントであっても、具体的なアプローチ法を組み込むことで少しずつ変化させている。	5領域や専門的療育に合わせた活動内容の提供している。 子どもや職員から定期的に取り組みたい活動など、意見を募りバリエーションを増やしていきます。 長期休業日には、課外活動を充実させ地域交流の機会にも繋げていきます。
2	子どもを中心とした視点で、支援プログラムを体系的に構築し、支援の質の深化が図られている	子どもが苦手だと思うことに少しでも楽しく取り組むことができるように、また得意なことや好きなことを更に伸ばしていけるように活動を工夫している。 長期休業中の一日療育については、より具体的に支援内容を明記し、利用者がサービスを選びやすくしている。 子どもたちや職員と一緒に活動を通して、色々な考え方・楽しさを伝えている。	個々の支援計画や様子を把握し、子どもたちが充実する活動内容を検討していきます。 利用者の意見を反映しながら今後も支援内容を明確にしていきます。 子どもたちの変化を見逃さず、職員間の情報共有に努めていきます。
3	保護者への相談支援	保護者への相談支援にも随時対応しており、家庭と連携しながら子どもの成長を共に支える取り組みを行っています。 さらに、LINEを活用した日常的なやり取りでは、日常での困りごとにも素早く対応し、随時面談を実施しております。保護者と並走しながら、子どもの成長を共に見守り、家庭と事業所が一体となって支援する体制に努めています。	今後も充実した保護者支援を目指し、家庭や学校での困り事や心配事にしっかり寄り添っていきます。また、療育等について、家庭での具体的な対処法を提供し保護者がより深い理解を得られる機会を増やしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動に合わせたスペースの確保が困難な時がある。	身体を動かしたい子が多くスペースの確保が難しい。 多くの子が同時に活動するため、一つの活動に対する空間が狭くなってしまうことがあります。	身体を動かす活動を体育館や公園で実施できるよう、あらかじめ計画を立てていきます。 時間ごとにスペースを確保し広く使いたい児童にも対応できるように努めていきます。
2	個別支援計画及び専門的支援計画書作成の効率化	個別支援計画及び専門的支援計画の作成・見直しの効率化が課題となっている。利用児童一人ひとりの特性に応じたきめ細かな計画を立てるため、情報収集や記録の整理、評価のプロセス時間がかかる。また、関係機関との連携や保護者との情報共有を丁寧に行っていることも、計画更新の負担が増えている状況があります。	個別支援計画の効率化に、記録・評価の集中化と明瞭化に取り組み、個人記録を計画更新時に必要な情報とし抽出できるようにしていきます。また、子どもの変化を素早く見極め、計画見直しの負担を軽減していく。計画の質を維持しながら、より効果的な支援提供が実践できるよう努めていきます。
3	地域への発信と交流	地域への発信と交流を課題として、子どもたちの特性を理解し、適切な支援を提供していますが、地域社会に伝える機会の取り組みが実践できていない。また、地域住民や関係機関への情報発信が不足していることで、共生社会への理解促進が十分に進んでいない状況があります。	地域との交流対策として、継続してインスタグラムの活用を通じて、子どもたちの日常の様子やイベントの様子などを写真や動画で発信し、さらに、地域の公民館イベントへの積極的な参加を通じて、事業所と地域住民の交流機会を増やし、共生社会への理解促進を進めていきます。